

市松人形 四代 松乾齋東光

いわむら りょう

岩村 亮 氏

千葉県指定伝統的工芸品 (令和元年度指定)

令和元年度(2020年)に千葉県伝統的工芸品として指定を受けた岩村亮氏は昭和60年市川市出身。全国でも数少ない市松人形師の号である松乾齋東光の四代目を受け継ぎました。

近年は石膏やポリウレタンなどを使用した作り方が主流となつていますが、岩村氏は市松人形の伝統が途切れてしまうこと・質が落ちてしまうことを危惧し、江戸時代から伝わる桐塑(とうそ)と呼ばれる桐の粉末に正麩糊(しょうぶのり)を混ぜて作った粘土から作り上げる伝統技法にこだわり制作されています。

岩村氏の人形は繊細に描かれた顔がやわらかな表情を生み出し、江戸時代や明治、大正時代の「古布」を使用した着物が昔ながらの雰囲気を醸し出しています。



【工房について】

見学、体験教室、市松人形の購入・修理等をご希望の方はホームページをご覧ください。ただきお問い合わせください。

URL: ichimatsu.jp



【Twitter・Instagram アカウント】

@ryoiwamura

